

日刊木材新聞

発行所 日刊木材新聞社
〒135-0041 東京都江東区冬木23-4
編集・営業 ☎03-3820-3500
FAX03-3820-3519
総務・販売 ☎03-3820-3511
FAX03-3820-3518
https://jfpj.jp/
eメール info@mokuzai.com
購読料 1ヵ月 6,200円
©日刊木材新聞社 2023
本紙の無断複製(コピー・PDF)配布は、著作権の侵害にあたり違法です。

森と街をつなぐ情報便
木材建材ワイワリー
Japan Lumber Reports
電子版

日刊木材新聞社
支社・支局
大阪支社 ☎06-6534-4300
Fax 06-6534-4331
中部支社 ☎052-251-2025
Fax 052-241-1160
中国支社 ☎082-231-2285
Fax 082-293-9788
九州支局 ☎096-352-1856
Fax 096-322-6005
東北支局 ☎022-239-4430
Fax 022-231-3474

一斉に減産計画

北欧大手紙パ3社

製材生産、縮小の可能性

フィンランドで大手紙・パルプメーカー3社が一斉に減産計画を進めている。ストウラエンソが工場閉鎖、UPMファイバーとメッツアボードが一時的な生産調整に向けて、それぞれ従業員との交渉開始を表明した。紙・パルプ工場が本格的に減産すると、地域の製材工場にも影響が及ぶ。日本向けを重視するサプライヤーは日本への安定供給を継続する見込みだが、大手紙パ3社が急に一斉減産に向かうのは異例のことと、全体の木材供給低下につながる可能性も考えられる。

大手紙・パルプメーカー
カー3社が一斉に生産縮小に動く背景には、特に段ボールと板紙の需要低迷と、ロシアからのチップ用丸太輸入停止に伴うコスト上昇があると思われる。

実際、巨大消費国である中国の紙・板紙消費量は、中国造紙協会によると昨年は4年ぶりに減少に転じた。ストウラエンソは15日、フィンランドのスニラパルプ生産部門、オランダの段ボール原紙工場、ポーランドの段ボール原紙工場の1ライン、エストニアのネビ製材工場の閉鎖計画を発表した。フィンランドのスニラパルプ生産部門閉鎖については「フィンランドの木材市場は、パルプ材の競争激化とロシアからの木材輸入停止の影響を受けているため、スニラではコスト競争力がなくなっている」としている。閉鎖は今年下半期に実施され、同社の年間パルプ生産能力は13%減少する。エストニア

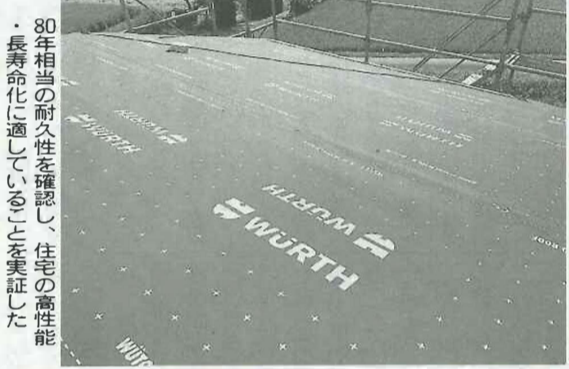
透湿防水シート 80年相当の耐久性性能確認

第三者機関による独自試験で

ウルトジャパン

ウルトジャパン(横浜市、永田裕介社長)は、同社の壁・屋根用透湿防水シート「ウーロップハイムシールド」シリーズで80年相当の耐久性性能を確認した。これは住宅の高性能・長寿命化の時流を踏まえ、第三者機関で同社が独自試験したもの。JISの規定を大きく上回る耐久性が裏打ちされた。

同社は、ドイツ・ウルトでは、世界各国で自開している。日本では、自動車関連部品やボルトの日本法人。ウルトは1945年にビス・ナット類、建築部材の製造から始まり、現在など多角的に事業を展開



80年相当の耐久性性能を確認し、住宅の高性能・長寿命化に適していることを実証した

株名田商店

— 木材・建材・プレカット —
TEL 078(7)101111
FAX 078(7)101111

神戸・西神戸・大阪

れまで、住宅外皮の高性能・長寿命化につながる建築部材の輸入・販売を手掛けてきたが、昨年3月には日本市場向けに開発した透湿防水シート「ウーロップハイムシールド」の販売を開始。壁用はウーロップハイムシールド、屋根用は「ウーロップハイムシールドルーフ2SK」の商品名で展開している。同時に、建材試験センターで両製品の耐久性試験を自主的に実施し、このほど80年相当の耐久性性能を確認した。

同社では、JISの性能試験に沿った形で、加熱処理による促進劣化期間を延長し、80年相当でも性能の劣化が確認されている。

一方、屋根用のウーロップハイムシールドは、1人施工が多い日本市場に合わせたサイズやシートのハリ感としているほか、耐紫外線性能、屋根用では野地板へのフィット感やスリップ防止機能、接着面への接着テープの採用などの工夫が設けられている。

造作用集成材も JAS製品

TSC株式会社 ティ・エス・シー
〒292-0838 千葉県木更津市潮浜2-1-53
TEL/0438-37-0206 FAX/0438-37-2349
ホームページ http://www.syusei-tsc.com

の製材工場閉鎖の理由は、原材料の入手が長期的に減少見込みであること、木材コストの上昇、収益性の低下で、今年第4・四半期中に閉鎖される予定。同社は一連の閉鎖を長期的な競争力強化のための再編活動としている。UPMファイバーは、カウカスのパルプ工場と製材工場について、一時的に生産調整する準備を進めている。UPMは5月、大半の事業で販売量の回復が遅れていることとパルプ価格の急落を理由に、今年の業績見通しを下方修正した。今回の生産調整はそうした市場環境に対処するための措置で、期

荷量が少ない場合に、一時的に生産調整する準備を進めている。実施時期は未定で、最大90日間、今年末までに数回に分けて実施される可能性がある。

フィンランドでは紙・パルプメーカーが林産物の需給の中心にあり、その動向は周辺地域の製材・加工工場にも影響を及ぼす。

パルプ工場が本格的に減産すると、チップ用丸太の需要が低下し丸太全体の出材が減るため、製材用丸太の供給も同時に減少する。

さらに、製材工場から出るチップの引き取りも抑制されるため、製材工場も減産を余儀なくされることとなる。

- ### 主な記事
- ▽2面 J建築システム 構造計算できる人材を育成
 - ▽3面 チップ商況(東日本) 燃料需要徐々に高まる
 - ▽4面 イケダコーポレーション 木繊維断熱材「シユタイコ」の魅力紹介
 - ▽5面 YKK AP エコスタジオセンス
 - ▽6面 木造・木質化のすすめ
 - ▽7面 東海大「素材・特別市・製品・中央祭り」

耐震・耐久性に優れる!

壁倍率4.0倍

長尺針葉樹構造用合板を筋かいのかわりに

大壁仕様 [国土交通大臣認定番号 FRM-0062]

窓が多くて素敵なお家に なったわ。

耐震性に優れ 地震倒壊の心配が 軽減されるわ。

耐久性が高いから 安心して暮らせるわ。

ISO 9001 認証取得

石巻合板工業株式会社

本社 / 〒986-0842 宮城県石巻市潮見町4-3
東京営業所 / 〒111-8533 東京都台東区浅草橋5-13-6(三朋ビル)
TEL 03-5829-6691 FAX 03-5823-1215 E-mail tokyo@ishinomaki.co.jp
東部営業所 / 〒986-0842 宮城県石巻市潮見町4-3
TEL 0225-96-3315 FAX 0225-96-3116 E-mail tobu@ishinomaki.co.jp

http://www.ishinomaki.co.jp